

講義名	方法	学年	学期	単位	担当教員
東洋医学概論	講義	1	前期	4	谷本雅則

授業概要	①東洋医学の思想の理解 ②東洋医学における生理事物質である精気血津液及び病邪を理解する。 ③病因病期を理解し病気の変化を知る。
到達目標	①東洋医学の基礎概念を理解する。 ②病気の伝変と波及を学習し病の変化について理解する。
成績評価	中間試験:30% 期末試験70%
実務経験	临床上必要な知識を経験を基に講義を行い東洋医学の基礎知識を身につける。

前期	講義内容
1	東洋医学の概要 東洋医学の大まかな流れを解説
2	第2章:生理と病理 第1節 生理事物質と神 I 生理事物質(精・気・血・津液)①精の生理作用について
3	第2章:生理と病理 第1節 生理事物質と神 I 生理事物質(精・気・血・津液)②気の生理作用について
4	第2章:生理と病理 第1節 生理事物質と神 I 生理事物質(精・気・血・津液)③血の生理作用について
5	第2章:生理と病理 第1節 生理事物質と神 I 生理事物質(精・気・血・津液)④津液の生理作用について
6	中間試験
7	第2章:生理と病理 第4節 病因病機 I:病因 1)外感病因(風邪・寒邪)
8	第2章:生理と病理 第4節 病因病機 I:病因 1)外感病因(湿邪・燥邪)
9	第2章:生理と病理 第4節 病因病機 I:病因 1)外感病因(暑邪・火邪)疫癘
10	第2章:生理と病理 第4節 病因病機 I:病因 2)内傷病因
11	第2章:生理と病理 第4節 病因病機 I:病因 3)病理産物とその他の要因
12	第2章:生理と病理 第4節 病因病機 II:病機 1)病因・病位・病性を把握する。2)伝変と波及 3)内生五邪
13	第2章:生理と病理 第3節 経絡 I:経絡の概念 II:経絡の機能 III:経絡の構成
14	第2章:生理と病理 第3節 経絡 IV経絡の病理
15	試験前復習 生理事物質や病邪について大事なところを説明
16	期末試験

使用教材	教科書・授業配布プリント
------	--------------

講義名	方法	学年	学期	単位	担当教員
東洋医学概論	講義	1	中期	4	谷本

授業概要	①東洋医学の病名である弁証について知る。 ②標本主客を学習し治療の優先度を理解する。 ③証に基づいて随証治療を行えるようにする。。
到達目標	弁証を理解し症状を基にし病気を弁証に分類することができる。 弁証に基づく治法治則を理解し自分で決定することができる。
成績評価	中間試験:30% 期末試験70%
実務経験	臨床経験を基に弁証の捉え方、病気の移り変わり、少に基づく治法治則を理解する。

中期	講義内容
1	第5章:弁証論治 第1節:弁証 I 弁証方法 1)八綱弁証
2	第5章:弁証論治 第1節:弁証 I 弁証方法 2)気血津液弁証
3	第5章:弁証論治 第1節:弁証 I 弁証方法 3)臓腑弁証 A.肝・胆の病証
4	第5章:弁証論治 第1節:弁証 I 弁証方法 3)臓腑弁証 A.心・小腸の病証
5	第5章:弁証論治 第1節:弁証 I 弁証方法 3)臓腑弁証 A.脾・胃の病証
6	第5章:弁証論治 第1節:弁証 I 弁証方法 3)臓腑弁証 A.肺・大腸の病証
7	第5章:弁証論治 第1節:弁証 I 弁証方法 3)臓腑弁証 A.腎・膀胱の病証
8	中間試験
9	第5章:弁証論治 第1節:弁証 I 弁証方法 5)六淫弁証
10	第5章:弁証論治 第1節:弁証 I 弁証方法 5)六淫弁証
11	第5章:弁証論治 第1節:弁証 I 弁証方法 6)六経弁証
12	第5章:弁証論治 第1節:弁証 I 弁証方法 7)衛気営血弁証 8)三焦弁証
13	第5章:弁証論治 第1節:弁証 1)標本 2)主客 治法①
14	第5章:弁証論治 第2節:論治 治法②
15	第5章:弁証論治 第2節:論治 Ⅲ. 治療法の概要
16	期末試験

使用教材	教科書・授業配布プリント
------	--------------